

わかる! バイタルサイン測定

ただバイタルサインを正確に測定する技術解説DVDではありません! 準備・測定・記録・アセスメントまでを解説し、より適切な治療や看護につなげる視点を養うDVDです!

■ DVD全2巻
 ■ 各巻価格 ¥28,000 (本体価)+税
 ■ 全2巻セット ¥56,000 (本体価)+税

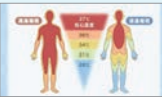


- 原案: 佐藤 智子 杏林大学 保健学部 看護学科 講師
- 監修: 山本 君子 杏林大学 保健学部 看護学科 教授
- 企画協力: 中島 恵美子 杏林大学 保健学部 看護学科 教授
- 学術協力: 岩橋 桜子 杏林大学 保健学部 看護学科 准教授

体の状態を数値として観察できるバイタルサインは、治療や看護の選択、決定を行うための、最も基本的で重要な情報です。そのため看護師には、体のしくみを理解した上で正確に測定すること、また得られた数値から体の状態を把握し、今後の治療や看護に活かす知識や技術が求められます。このシリーズでは、「体温」「脈拍」「呼吸」「血圧」「意識」、それぞれの知識や測定・観察方法を学ぶとともに、事例を通して、バイタルサイン測定の基本的・応用的な流れ、また記録やアセスメントについて、看護の視点から解説しています。



VOL.1 基本的な測定の流れ・体温・意識 48分 NEW



この巻では、定時検温の事例を基に基本的なバイタルサイン測定の流れや治療、看護につなげる視点を学ぶとともに、「体温」の知識と測定方法、「意識」の知識と観察について解説しています。

VOL.2 呼吸・脈拍・血圧・援助を考える 2017年8月完成予定 制作中



この巻では「呼吸」の知識と観察、「脈拍」、「血圧」の知識と測定方法について解説するとともに、入院患者の事例を基にバイタルサインの測定値から、看護につなげる視点を養います。

©2017

看護のための酸素吸入療法

酸素吸入療法は、看護のさまざまな場面で行われます。また、近年の慢性閉塞性肺疾患の増加により、日常的に酸素吸入を行う必要のある患者が増加しています。こうした状況の中で、看護師が正しい知識をもち、確実に酸素吸入を実践する必要性が高まっています。本シリーズでは、呼吸器の仕組み、呼吸器の検査やアセスメントだけでなく、酸素吸入療法に必要な物品や装置、ポンペを使用した酸素吸入療法の実際などについても詳しく解説しています。酸素吸入療法を包括的に学ぶためにぜひご活用ください。

■ 各巻価格 ¥28,000 (本体価)+税
 ■ DVD全2巻 ■ 全2巻セット ¥56,000 (本体価)+税



■ 原案監修: 田中 晶子 昭和大学 保健医療学部 看護学科 講師



VOL.1 酸素吸入療法の導入 31分



息苦しさを訴え外来受診をした患者を通して適切な酸素吸入療法を行うためには、呼吸器の状態や、呼吸苦の程度、呼吸苦に伴う生活上の困難や状況などを理解する必要があります。この番組では、呼吸苦を訴えて外来を受診した患者の例を通して、患者に行われる検査や、看護師によるアセスメント、そのなかで必要となる呼吸器の仕組みや疾患(COPD)の知識などについて解説します。

VOL.2 酸素吸入療法の実践 26分



酸素吸入療法では、患者の状態や状況に合わせて、さまざまな物品や酸素供給装置が選択されます。看護師には、その仕組みと役割を理解して、適切な酸素吸入療法を行うことが求められます。この番組では、酸素吸入に必要な物品と、酸素供給方法、酸素ポンペの残量と使用可能時間の計算方法などについて解説します。また、病室からの移動のため、中央配管から酸素ポンペへの付け替えを行う必要がある患者の例を通して、酸素ポンペを使用した酸素吸入療法において看護師が行う準備や、注意すべきポイントなどについてもみていきます。

©2014

看護情報学

この番組は「患者情報」についての知識や、誤った取り扱いにより引き起こされる問題を具体例で示し、看護情報学の理解を深められるように構成されています。

■ DVD全3巻
 ■ 各巻価格 ¥28,000 (本体価)+税
 ■ 全3巻セット ¥84,000 (本体価)+税



インターネットやスマートフォンなどの情報技術が普及する中、看護師や看護学生にも、適切な「患者情報」の取り扱い方を身に付けることが求められています。本シリーズでは「患者情報」についての考え方や理解を深めるとともに、誤った情報の取り扱いによって起こる問題の具体例を示します。問題が生じやすい状況を理解して、深刻な問題となる情報流出や情報漏えいを発生させない「情報リテラシー」を身に付けましょう。

VOL.1 だいたいどうぶ? あなたの情報リテラシー 29分

■ 監修: 坂田 信裕 獨協医科大学 基本医学 情報教育部門 教授
 ■ 原案: 内宮 律代 大和大学 保健医療学部 看護学科 准教授



医療従事者に求められる「情報リテラシー」とは何かを解説します。個人情報漏えいについての事例により、情報の不適切な取り扱いにより生じた問題の一例を紹介し、また情報倫理として、情報漏えいの危険がある言動について紹介します。



VOL.2 だいたいどうぶ? 電子カルテの取り扱い 30分予定 NEW

■ 監修: 坂田 信裕 獨協医科大学 基本医学 情報教育部門 教授
 ■ 原案: 内宮 律代 大和大学 保健医療学部 看護学科 准教授
 渡邊 佳代 川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 准教授
 ■ 制作協力: 根本 清次 東都医療大学 幕張ヒューマンケア学部設置準備室
 寺岡 歩 前大和大学 保健医療学部 看護学科 / 医療法人社団 大坪会 東都文京病院



医療情報システムについて、また個人情報の取り扱いについての厚生労働省の通知およびガイドライン・ガイドンス、また電子カルテシステムの概要を解説します。また不適切な電子カルテの取り扱いが原因で生じた問題として、なりすましによる電子カルテの閲覧、看護行為の虚偽記載の2つの事例を紹介し、

VOL.3 だいたいどうぶ? ルールを守ったレポート作成(仮) 企画進行中

©2014・©2017